


| | | | | | |
|----------------|-----------------------------------|------------------|--|---|-------|
| 自転車安全利用教室の開催 | | 取組開始時期 | 平成23年6月 | 取組の カテゴリ | 教育・研究 |
| 1. 団体名 | いちい信用金庫 | 2. 連携先の団体 | 一宮市教育委員会、一宮警察署、一宮市内 中学校・高校 岩倉市教育委員会、江南警察署、岩倉市内中学校 | | |
| 3. 取組目的 | 自転車事故防止のため、安全な利用方法の普及と交通マナーの向上を図る | | 4. 関連する ゴール |  | |

| 5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等） | |
|--|--|
| <p><取組内容の詳細></p> <p>1 経緯 当金庫職員がバイクと自転車の事故により負傷したことから、当時の理事長が一宮市教育委員会に交通安全教室の必要性を提案し、一宮警察署の協力を得て「自転車安全教室」を開催することとなった。</p> <p>2 概要 (1) 当金庫職員による指導等 愛知県警OBの職員により自転車の安全利用、自転車事故のおそろしさ、自転車事故にあったときの措置等について生徒の皆さんに指導をしたほか、自転車利用マナー向上グッズを配付している。 (2) 警察による参加体験型指導 体育館等において、生徒の代表に自転車の傘差し運転や二人乗り運転等の禁止行為を実際に体験させて警察官が具体的な説明を加えて、生徒の意識改革を図っている。 (3) 実績 同教室は、平成23年6月より本店所在地である一宮市内の中学校(中学生)を対象に取り組みを行い、平成25年4月からは、一宮市内の高等学校(高校生)に、平成28年7月からは、愛北営業部所在地の岩倉市内の中学校(中学生)にも対象を広げ、平成29年7月に、一宮市内公立中学校全19校および岩倉市内中学校全2校での開催となった。 一宮市内公立中学校全19校および岩倉市内中学校全2校での開催実績に対して、平成30年4月20日愛知県警察本部より交通安全の啓蒙に関する「感謝状」をいただいた。</p> <p>※これまでの活動歴 自転車安全利用教室活動実績 【平成23年度】 一宮市内の3つの中学校で、1,860人の生徒に対して開催した。 【平成24年度】 一宮市内の2つの中学校で、806人の生徒に対して開催した。 【平成25年度】 一宮市内の3つの中学校と、2つの高等学校で、2,600人の生徒に対して開催した。</p> | |

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

地域での交通安全指導等による交通事故の削減

ステークホルダーとの連携

一宮市教育委員会 ⇒ 一宮警察署
⇒ 一宮市内中学校・高等学校生徒

岩倉市教育委員会 ⇒ 江南警察署
⇒ 岩倉市内中学校生徒

モデル性・波及性

一宮市内の自転車交通事故数は、減少しており、自転車利用時のヘルメット着用等、交通マナーは向上している。

【平成26年度】

一宮市内の6つの中学校と、2つの高等学校で、5, 248人の生徒に対して開催した。

【平成27年度】

一宮市内の3つの中学校と、1つの高等学校で、2, 814人の生徒に対して開催した。

【平成28年度】

一宮市内の4つの中学校と、1つの高等学校、ならびに岩倉市内の1つの中学校で、3, 111人の生徒に対して開催した。

【平成29年度】

一宮市内の5つの中学校と、1つの高等学校、ならびに岩倉市内の2つの中学校で、3, 447人の生徒に対して開催した。

【平成30年度】

一宮市内の2つの中学校と、1つの高等学校、ならびに岩倉市内の1つの中学校で、1, 166人の生徒に対して開催した。

【令和元年度】

一宮市内の4つの中学校と、2つの高等学校で、3, 601人の生徒に対して開催した。

平成23年度から令和元年度までの9年間で延べ46校で開催し、延べ24, 653人の生徒が参加した。

<成果>

一宮市内交通事故（自転車）が平成23年713件から、平成29年650人(平成23年比63人減少)、平成30年608人(平成23年比105人減少)、令和元年447人(平成23年比266人減少)と減少している。

<今後の方向性>

地域での交通事故を削減するため、自転車安全利用教室の開催を継続していく。